

地域コミュニティアプリ「ピアッザ」で身近な情報を交換しませんか?

ダウンロードはこちら↓

編集・発行 / 北区役所 政策推進課 (広報担当)  
 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27  
 TEL 06-6313-9474 FAX 06-6362-3821  
<https://www.city.osaka.lg.jp/kita/>

8月号の主な記事

マイナポイントの申込期限は9月末まで……………2面	発熱外来のご案内……………3面	ジシン本基礎講座 災害時のスマホ活用術……………3面
スマホ相談会・健康測定会……………2面	出張イベント&個別子育て相談会……………3面	大阪市防災アプリリニューアル……………5面



## 大地震…怖いのは揺れだけではない!?

地域防災リーダーの先導で避難訓練

地震発生時は机の下に。「机の足をしっかり持って」

三角巾で包帯を作り、頭のケガを手当てする練習も

最後は一時避難場所へ集合



毛布を使って友だちを搬送。「せーの」で持ち上げる

**家族でルール決めて**

この日は保護者参観もあり、1時間目は、身近にある三角巾やごみ袋を使って包帯やカッパを作ったり、毛布の端を丸めてケガをした友だちを搬送したりする授業を見守りました。保護者は2時間目は講堂に集まって地域防災リーダーの話の聞きまわし。菅北連合振興町会会長の中川章さんは、保護者参加の意義を「緊急時の連絡方法や集合場所など、家族で話し合っておくルールを決めるきっかけにしたら」と話します。

3時間目は避難訓練です。「大きな地震が発生しました」との放送で机の下に待機。揺れが収まると、防災頭巾をかぶって運動場へ集まります。地域防災リーダーと担任の先生が避難ルートを確認したうえで、一時避難場所である近くの公園

## 地域特性に合わせた防災訓練

菅北小学校(菅栄町)で5月中旬、土曜日の授業時間を利用した防災訓練がありました。木造の住宅や店舗が密集する菅北地域では、大きな地震が起きた後の家屋倒壊や大規模火災を想定し、北区役所と地域、学校が話し合い、訓練内容を決めました。今回は地震発生後、校舎から運動場に避難した後に、周辺で発生した大規模火災を想定し、避難訓練を実施しました。訓練で校外に出るのは初めてです。

園に向かいました。途中、民家が迫る狭い道もあり、「火の粉が飛んでくるかもしれないから、暑いけど頭巾は脱がないで」と先生や地域防災リーダーが声を掛けます。

南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に70〜80%程度の確率で発生するとされています。「今の小学生たちが生きていく中で、必ず起きるといってもいい。もしもの時に落ち着いてどう対処するのか。訓練を繰り返して、体で覚えてもらいたい」と菅北地域活動協議会会長の久保誠一さん。



訓練を重ねる地域防災リーダー

## 「コミュニティづくり」は最大の防災対策

避難訓練の先導役を務めた地域防災リーダーには、大規模災害が起きた時、地域住民の先頭に立って初期消火や救出活動にあたる役割があります。4月現在、区内19の連合振興町会で421人が活動。日頃は地域の防災点検や啓発活動をし、必要な知識や技術の習得に取り組んでいます。

北消防署の地域担当消防司令、南浦正洋さんは「一人では力の及ばない大きな災害では、隣近所の皆さんが助け合って被害を少しでも軽減することが重要です。助け合いを効果的に行うには、地域防災リーダーの指示の下、組織的に行動する必要があります」と話しています。地域の防災活動に積極的に参加し、地域住民同士コミュニケーションを図り、来る大災害に備えましょう。

5〜8面に保存版・防災特集

